



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社フェイス 上場取引所 東
 コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平澤 創
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐伯 次郎 TEL (03) 5464-7633
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,344	4.2	1,319	△21.7	1,229	△23.2	862	37.9
29年3月期第3四半期	15,686	2.5	1,686	37.6	1,601	31.2	625	7.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,086百万円 (△21.8%) 29年3月期第3四半期 1,388百万円 (54.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	71.71	—
29年3月期第3四半期	63.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	26,260	19,061	72.5
29年3月期	26,959	18,066	59.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 19,026百万円 29年3月期 16,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,100	6.3	1,310	△25.5	1,300	△15.5	800	39.9	64.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	13,831,091株	29年3月期	11,960,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	967,031株	29年3月期	2,091,180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	12,032,464株	29年3月期3Q	9,869,309株

(注) 30年3月期3Qの期末発行済株式数(自己株式を含む)の増加1,871,091株及び期末自己株式数の減少1,124,149株の内訳の主なものは、平成29年8月1日を効力発生日とする日本コロムビア株式会社との株式交換を実施したことによるものです。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内の情報通信分野においては、デバイスの多様化とともにスマートフォンの普及が一層進み、2017年度上期のスマートフォンの出荷台数は前年同期比12.9%増の1,373万台となり(※1)、また、スマートフォンからのインターネット利用者は前年同期比11%増の6,193万人とPCからのインターネット利用者がピークだった2011年の利用者数を初めて上回りました(※2)。今後もインターネット利用率とスマートフォンの普及拡大を背景に、デジタル化時代に沿ったサービスへの移行が加速していくものと見込まれ、時代に即したユーザーニーズに機敏に対応していくことがますます重要となっています。

※1出所：株式会社MM総研「2017年度上期国内携帯電話端末出荷概況」

※2出所：ニールセンデジタル株式会社「Digital Trends 2017 上半期」

このような環境の下、当社は、創業以来コンテンツのデジタル流通に注力してきた取組みを活かし、引き続き『マルチコンテンツ&マルチデバイス戦略(様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造)』を推進し、インターネット上に溢れる情報を収集、整理し、付加価値を高めてユーザーに提供するプラットフォームの開発など市場環境の変化に応じた新規サービス展開に取り組んでまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績について、売上高は前年同期比4.2%増の16,344百万円、営業利益は前年同期比21.7%減の1,319百万円、経常利益は前年同期比23.2%減の1,229百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比37.9%増の862百万円となりました。

また、当社においては平成29年6月29日、日本コロムビア株式会社においては同年6月23日にそれぞれ開催されました定時株主総会において株式交換契約が承認され、平成29年8月1日を効力発生日とする株式交換により、当社は、日本コロムビア株式会社の全株式を取得し、完全子会社化が完了しました。これに伴い事業戦略の一元化と意思決定のスピードアップ、ノウハウ・人材等の効率的な活用をより一層進めるとともに、音楽業界の変革期に対応する創造力を強化し、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<コンテンツ事業>

コンテンツ事業においては、スマートフォンなどの普及や音楽視聴スタイルの変化など市場環境に応じた新たな商品開発を積極的に進めているほか、多様化する収益源の獲得に向けてプラットフォーム化などを行うとともに、既存の事業を含めたサービス内容や市場性の結果検証を行い、機能の改善や各サービスの連動など、より付加価値を高める施策を推進しております。

「FaRao PRO」は、インターネットを活用した業務用BGM、アナウンス機能に加え、サイネージや防犯カメラなど、店舗運営に必要な機能拡充、営業活動を積極的に展開しております。また、フランス、インドネシアにおいても、日本でのサービスを基盤として「FaRao PRO」事業を開始しており、インドネシアホテルチェーンへの一括導入を行うなど、新規開拓を進めております。今後とも、国内外において新たな音楽市場の創造と活性化に取り組んでまいります。

アーティスト向けプラットフォーム「Fans'」は、オフィシャルサイトの構築、楽曲・映像配信、アーティストグッズの販売、ファンクラブ運営などアーティスト活動に必要な機能の拡充を行っております。より多くのアーティストが作品や情報を自由に発信できるサービスとして、利用者の獲得、拡大を目指すとともに、使いやすさの追及等サービス品質の向上に努めてまいります。

この結果、コンテンツ事業の売上高は、市場環境の変化に合わせた新たなサービス展開を積極的に進めたものの、フィーチャーフォン向けサービスの売上減少により、前年同期比4.8%減の3,171百万円となり、営業損失は118百万円(前年同期は営業損失9百万円)となりました。

<ポイント事業>

ポイント事業においては、既存加盟店でのポイント発行が、ポイント倍セール等の施策もあり、引き続き堅調に推移しました。また、セルフリキデーション(※3)事業も堅調であったことから、売上高は、前年同期比10.7%増の2,009百万円となりました。営業利益に関しましては、人員増やオフィス増設等によるコスト増のため、前年同期比17.8%減の61百万円となりました。

※3 シールなどのポイントを貯めて、様々な商品を割引価格で購入できるキャンペーン

<レーベル事業>

レーベル事業においては、音楽市場の縮小に伴う音楽・映像関連業界の厳しい環境の下、パッケージ商品に依存している状況からの脱却を図るため、将来を見ずえた新規事業の強化を進めております。

業績につきましては、前年同期の売上に貢献いたしましたJ-POP作品及び教育作品の売上は減少いたしました。アニメ作品、ゲーム作品が好調に推移したこと、新たに株式会社ドリーミュージックを連結したことに伴い、売上高は前年同期比5.9%増の11,163百万円、営業利益は前年同期比15.2%減の1,374百万円となりました。

※本文書に記載されている会社名、製品名は、各社および各団体の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて699百万円減少し26,260百万円となりました。主として現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて1,693百万円減少し7,199百万円となりました。主として支払手形及び買掛金の減少ならびに借入金を返済したことによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて994百万円増加し19,061百万円となりました。主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、自己株式の減少等によるものであります。

自己資本比率は、13.0ポイント改善し、72.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、すでに当第3四半期連結累計期間において営業利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益が通期連結業績予想を上回っておりますが、第4四半期連結会計期間において、レーベル事業におけるゲーム作品の制作費、広告宣伝費の負担などが見込まれるため、平成29年10月31日に開示いたしました数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,268,853	13,501,723
受取手形及び売掛金	2,659,104	2,481,049
有価証券	230,572	230,433
商品及び製品	561,536	494,896
仕掛品	356,686	477,961
原材料及び貯蔵品	49,983	65,733
未収還付法人税等	27,454	21,809
繰延税金資産	100,976	96,123
その他	639,750	590,676
貸倒引当金	△18,863	△19,787
流動資産合計	18,876,055	17,940,618
固定資産		
有形固定資産	2,831,617	2,777,688
無形固定資産		
のれん	1,833,611	1,745,375
その他	855,577	788,642
無形固定資産合計	2,689,188	2,534,017
投資その他の資産		
投資有価証券	2,137,412	2,583,613
繰延税金資産	26,208	26,215
その他	718,609	756,165
貸倒引当金	△319,539	△357,875
投資その他の資産合計	2,562,690	3,008,119
固定資産合計	8,083,496	8,319,825
資産合計	26,959,552	26,260,444
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,233,646	983,871
短期借入金	852,119	661,819
リース債務	6,582	1,885
未払費用	2,756,629	2,596,323
未払法人税等	327,800	235,999
賞与引当金	78,300	37,695
ポイント引当金	43,570	9,353
返品調整引当金	96,748	86,212
その他	2,164,786	1,480,704
流動負債合計	7,560,185	6,093,865
固定負債		
長期借入金	464,530	297,346
退職給付に係る負債	621,382	573,401
リース債務	1,446	904
繰延税金負債	195,107	188,675
その他	50,320	45,241
固定負債合計	1,332,787	1,105,568
負債合計	8,892,972	7,199,433

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,705,680	3,019,222
利益剰余金	11,953,901	12,674,778
自己株式	△3,039,450	△99,272
株主資本合計	15,838,131	18,812,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,014	259,014
為替換算調整勘定	△11,513	△13,280
退職給付に係る調整累計額	△41,119	△31,987
その他の包括利益累計額合計	214,381	213,747
新株予約権	15,691	—
非支配株主持分	1,998,376	34,534
純資産合計	18,066,579	19,061,010
負債純資産合計	26,959,552	26,260,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	15,686,616	16,344,272
売上原価	9,250,790	9,959,356
売上総利益	6,435,825	6,384,916
販売費及び一般管理費	4,749,698	5,065,128
営業利益	1,686,127	1,319,787
営業外収益		
受取利息	660	1,070
受取配当金	5,137	4,503
有価証券利息	25	40
投資事業組合運用益	23,598	15,367
為替差益	—	958
雑収入	8,052	15,989
営業外収益合計	37,475	37,931
営業外費用		
支払利息	9,073	6,398
持分法による投資損失	104,338	69,719
企業結合における交換費用	—	50,852
為替差損	719	—
雑支出	8,111	1,018
営業外費用合計	122,243	127,989
経常利益	1,601,359	1,229,729
特別利益		
投資有価証券売却益	—	116,982
持分変動利益	—	5,859
新株予約権戻入益	27,043	15,691
その他	—	754
特別利益合計	27,043	139,287
特別損失		
固定資産処分損	5,398	6,617
のれん減損損失	—	23,421
その他	500	—
特別損失合計	5,898	30,039
税金等調整前四半期純利益	1,622,503	1,338,977
法人税等	279,171	249,887
法人税等調整額	2,578	2,155
四半期純利益	1,340,754	1,086,934
非支配株主に帰属する四半期純利益	715,012	224,107
親会社株主に帰属する四半期純利益	625,742	862,826

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,340,754	1,086,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,689	△9,573
為替換算調整勘定	△5,804	△1,760
退職給付に係る調整額	△758	10,915
その他の包括利益合計	48,126	△419
四半期包括利益	1,388,880	1,086,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	672,941	862,191
非支配株主に係る四半期包括利益	715,939	224,323

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年8月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社とし、日本コロムビア株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。当該株式交換を主因として、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が686,457千円、自己株式が2,940,178千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金は3,019,222千円、自己株式は99,272千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	レーベル	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,330,555	1,814,397	10,541,663	15,686,616	—	15,686,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	84,634	—	32,861	117,496	△117,496	—
計	3,415,190	1,814,397	10,574,525	15,804,112	△117,496	15,686,616
セグメント利益又は損 失(△)	△9,675	74,184	1,620,024	1,684,532	1,594	1,686,127

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1,594千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	レーベル	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,171,650	2,009,106	11,163,515	16,344,272	—	16,344,272
セグメント間の内部 売上高又は振替高	78,160	—	7,979	86,139	△86,139	—
計	3,249,810	2,009,106	11,171,495	16,430,412	△86,139	16,344,272
セグメント利益又は損 失(△)	△118,866	61,012	1,374,094	1,316,241	3,546	1,319,787

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額3,546千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。